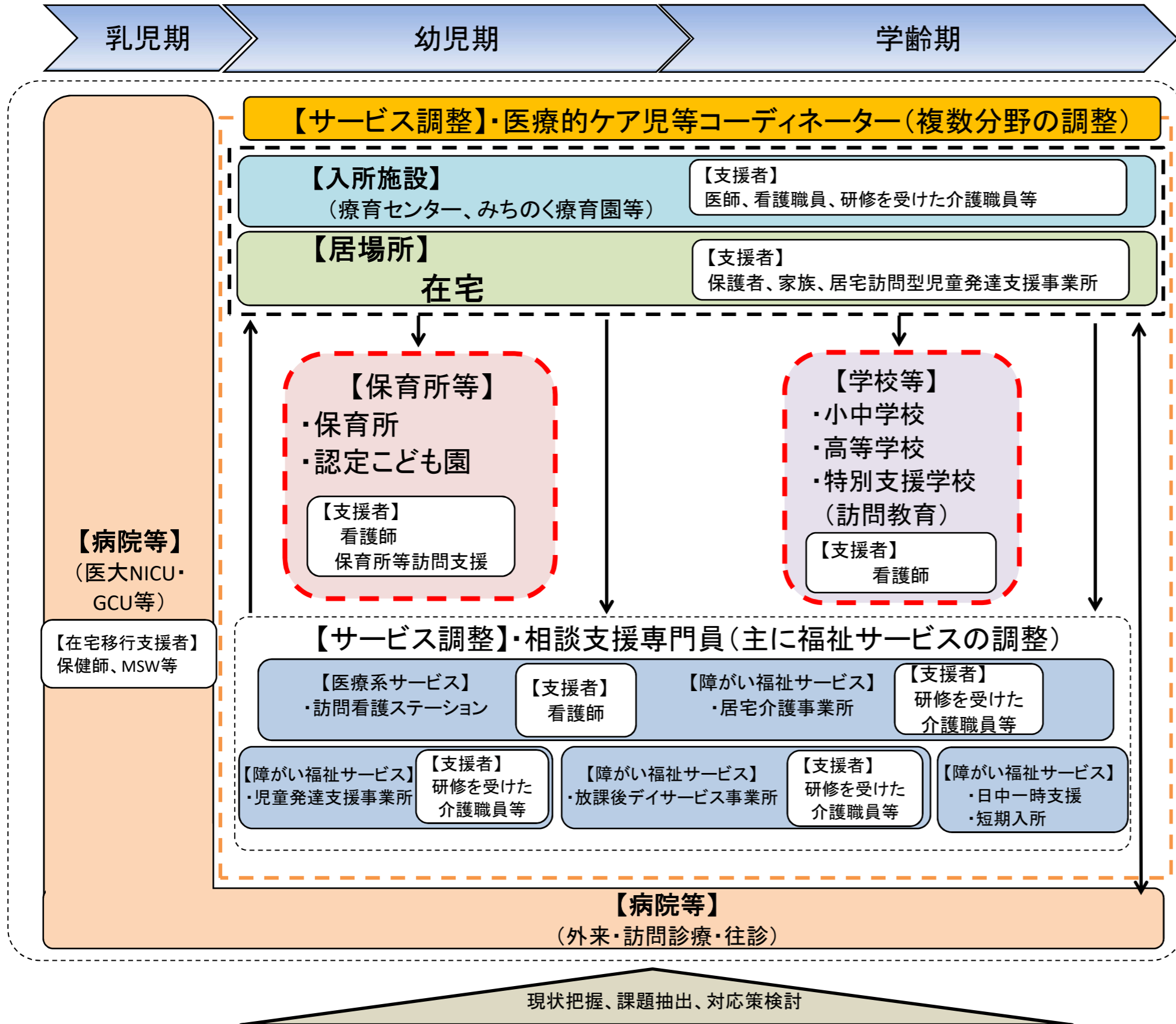


医療的ケア児等の受入体制整備に係る現状と課題について

資料1-2

課題(論点)

- 《保育所等における医療的ケア児支援体制の構築》**
【論点】 市町村における受入体制構築支援
 ⇒保育所等での受入に当たって、現状の課題は何か。
 ⇒医療的ケア児保育支援モデル事業の活用促進をどう図るか。
- 《小中学校における医療的ケア児支援体制の構築》**
【論点1】 乳幼児期段階の支援者等からの早期からの情報提供
 ⇒乳幼児期段階の支援者等から小中学校の設置者である市町村教育委員会へ、必要な情報を切れ目なくつなぐ機会や様式を整えることはできないか。
【論点2】 各市町村の取組についての情報共有
 ⇒指導主事会議等で他市町村教育委員会の取組を共有することにつながっていることから、保健福祉部局担当者においても、各市町村の取組を共有する機会が設定できないか。
【論点3】 医療・福祉関係による小中学校支援
 ⇒専門的な医療機関等が少ない地域等で医療的ケア児が在籍している小中学校を支えるために、医療機関や福祉関係者による継続的な訪問支援ができないか。さらには、医療機関や福祉関係者が小中学校への継続的な訪問支援を通して、小中学校の現状理解にもつながるのではないか。
【論点4】 指導医、指導的看護師の配置
 ⇒学校勤務の看護師が実施する医療的ケアをサポートするために、指導医や指導的看護師を配置できないか。
【論点5】 非医療職による医療的ケアの実施について
 ⇒小中学校勤務の教諭など、看護師等以外の非医療職による医療的ケアの実施を検討できないか。
- 《医療的ケア児受入を支える人材・調整機能の確保》**
【論点1】 受入体制を支える看護師の確保・資質向上
 ⇒看護師の確保に当たっては、前提となる障がい児に対する医療的ケアに習熟した看護師の育成も必要でないか。
【論点2】 医療的ケア児等コーディネーターの効果的な配置
 ⇒令和5年度までに、圏域又は市町村ごとに医療的ケア児等コーディネーターを配置することとされているが、各地域の実情に応じた受入体制整備にも資する効果的な配置が求められるのではないか。
【論点3】 県レベルでの医療的ケア児支援の総合調整機能の確保
 ⇒各圏域又は市町村の医療的ケア児コーディネーターをスーパーバイズする、全県のセンター的機能を持つコーディネーターの設置を検討できないか。



現状把握、課題抽出、対応策検討

